

ウエルハーネスだより

理事長からの言葉



196号

上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL: 048-782-0575
FAX: 048-782-0590
令和4年9月26日発行

あの暑い日々は何だったんだろうかというくらい、涼しい日々が続いています。台風も連続してきます。常に大雨への備えが必要になります。秋の長雨とういうと、風情ある降り方をしていたような気がするんですが。天候が本当に極端ですね。このままいくと、季節は夏と冬だけになってしまうのではないかでしょうか。

さて、円安が止まりません。ついに1ドル=145円台になりました。さすがに反発して143円台まで戻しましたが。でも来月には150円台になってしまうような気がします。経済にはあまり明るくないのですが、そんな私でもこのままではまずいなと思います。特に身近で感じていることをいくつかお話ししたいと思います。

まずは、諸物価の高騰。本施設で使用している介護用品や食材等、原材料あるいは製品を輸入に頼っているものがほとんどなので、毎月のように価格が上がっています。これは本施設に限ったことではなく、全産業に言えることでしょう。他の産業との違いは、我々介護業界は報酬が公定で決まっているので、物価の上昇を価格に転嫁できないこと。企業努力で諸経費を抑える努力をしていますが、これ以上の経費削減はサービスの低下につながるので難しいのが現状です。それでもコロナ禍で特養の30%以上は赤字という厳しい状況です。

次に問題なのが、技能実習生等の外国人人材の送金額の目減りです。当法人も3名の技能実習生、2名の留学生を雇用しています。今後も外国人人材の登用を積極的に行っていく方針です。というのは2040年に高齢者数がピークを迎えます。その際、介護職員が65万人不足すると予測されています。しかも、国内の労働人口は25%減少が見込まれています。どう考えても国内の労働者だけでは無理です。2040年の施設経営には外国人人材が欠かせません。

外国人が日本で働く制度として技能実習生や特定技能実習生、留学生等いろいろあります。現在、中心となっているのはベトナム、インドネシア、フィリピン等の東南アジア諸国です。彼らは日本で得た報酬のうちのかなりの部分を本国の家族に送金しています。円安が進んだので3年前の2019年8月と比べると、

送金額が4分の1減りました。単純に10万円をドルで送金するとします。3年前には1ドル=110円、909ドルだったのが、今年の9月1ドル=145円、689ドルにしかなりません。同じ報酬なのにこれだけ目減りしています。

多くの外国人が日本に来る際、借金をしてきます。その返済もしなければなりません。ベトナムでは150万~200万円の借金をして来るらしいです。このまま円安が進むと日本に来るメリットはどんどんなっていくように思われます。そもそも日本語という高いハードルを乗り越えなくてはならないのに。フィリピンでは日本離れが進んで英語圏への希望が多くなっていると聞きました。ベトナムやインドネシアなどもこのままではユーロ圏に行ってしまうのではないでしょうか。

東南アジアの人々は、アジアで初の近代化を成し遂げ、敗戦後も経済復興した日本へのあこがれや尊敬の念で来てくれていました。このままいくと日本へのあこがれは無くなっていくのではないかでしょうか。介護業界だけではどうしようもない問題ですが。

8~9月の行事

9/19（月）昼食に敬老の祝い膳、おやつに十万石饅頭か水ようかんを召し上がって頂きました。沢山のお料理にご利用者様も喜ばれ満足されたご様子でした。

また、敬老の賞状をお渡ししたり、のびのび靴下（特養）やスプーン付マグカップ（デイ）をプレゼントしました。

特養では、イチゴや抹茶小豆の本格的かき氷を作るユニットや施設の玄関前で花火大会を行うユニットもありました。また、お茶会や敬老のお祝いもおこないました。

デイでは、ステンドグラス風のお花見制作をおこなったり、季節の塗り絵を描きました。また、お好み焼きゲームや秋を掘もうゲームも行いました。



9~10月の予定

特養では、ユニット毎に誕生日のお祝いやお茶会を考えています。

デイでは、水彩画を描いたり、10/4・5に秋の向山運動会を行います。また、天候等にもよりますが、10/17・18には紅葉を観賞しドライブを予定しています。

特養のご家族様へのお願い

有効期限 令和5年7月31日 の後期高齢者医療被保険者証がお手元に届きましたら、お手数ですがご郵送かご持参下さい様、宜しくお願ひ致します。

